

「変革 2021」の実現に向けた組織の再編について

現業機関・企画部門・業務の見直し等提案!!

地本は本日(4/26)、千葉支社より、変革のスピードアップを実現することを通じて働きがいの向上や経営体質の強化を実現するとして千葉支社の仕事と組織を以下の通り実施すると提案を受けました。関係職協・関係分会は提案内容を検討し要求集約を要請いたします。

1. 現業機関の再編

(1) (営業)統括センター関係(駅・乗務員)

今後も(営業)統括センターの設置等を推進していく。

(2) 車両関係

幕張車両センター、京葉車両センターを首都圏本部の現業機関とする。

(3) 設備関係

千葉保線設備技術センター、千葉建築設備技術センター、千葉機械設備技術センター、千葉土木設備技術センター、千葉電力設備技術センター及び千葉信号通信設備技術センターを新設する。

これに伴い、新小岩保線技術センター、西船橋保線技術センター、千葉保線技術センター、大網保線技術センター、成田保線技術センター、千葉建築技術センター、千葉機械技術センター、千葉土木技術センター、千葉電力技術センター、千葉信号通信技術センター及び津田沼信号技術センターの体制を見直す。

(4) 医療関係

千葉鉄道検診センターを千葉健康推進センターとし、JR 東日本健康推進センターの現業機関とする。

2. 企画部門の再編

千葉支社の現行の部課室を監査室、地域共創部、鉄道事業部、企画総務部に再編すると共にユニット制を導入する。

3. 業務の見直し

(1) 現業機関において、現在担当している業務の一部の見直しを行う。

(2) 千葉支社の企画部門において現在担当している業務の一部を現業機関へ移管する。

(3) 千葉支社の企画部門において現在担当している業務の一部を首都圏本部へ集約する。

4. 要員体制

別紙による。

5. 実施期日

(1) 車両センターの再編は2023年6月とする。

(2) 設備技術センターの設置は2022年10月とする。

(3) 千葉健康推進センターの再編は2022年10月とする。

(4) 企画部門の再編は2022年10月とする。

(5) 業務の見直しについては2022年10月とする。

6. その他

- (1) 第3項第3号に関わらず千葉支社において担当している業務の一部を首都圏本部または東北本部等に集約する場合がある。
- (2) 実施に向けて教育訓練等の必要な準備を行っていく。

要員別紙

		現 行		改 正		記 事
		変 形 等	計	変 形 等	計	
新小岩保線技術センター	管 理	5	5	5	5	
	一 般	19	19	18	18	△1
西船橋保線技術センター	管 理	4	4	4	4	
	一 般	14	14	13	13	△1
千葉保線技術センター	管 理	8	8	7	7	△1
	一 般	36	36	32	32	△4
大網保線技術センター	管 理	5	5	5	5	
	一 般	19	19	18	18	△1
成田保線技術センター	管 理	5	5	5	5	
	一 般	19	19	18	18	△1
千葉保線設備技術センター	管 理			1	1	新設
	一 般			4	4	新設
千葉土木技術センター	管 理	12	12			
	一 般	31	31			
千葉土木設備技術センター	管 理			12	12	
	一 般			31	31	
千葉建築技術センター	管 理	5	5			
	一 般	19	19			
千葉建築設備技術センター	管 理			5	5	
	一 般			19	19	
千葉機械技術センター	管 理	4	4			
	一 般	9	9			
千葉機械設備技術センター	管 理			4	4	
	一 般			9	9	
千葉電力技術センター	管 理	24	24			
	一 般	91	91			
千葉電力設備技術センター	管 理			24	24	
	一 般			91	91	
千葉信号通信技術センター	管 理	15	15			
	一 般	49	49			
津田沼信号技術センター	管 理	12	12			廃止
	一 般	46	46			廃止
千葉信通設備技術センター	管 理			25	25	△2 新設
	一 般			95	95	統合新設

提案時の資料・やり取りで明らかになったこと

(組合)車両センターが首都圏本部所属となる様であるが、触防やマニュアルは千葉独自の物もあると考えるがどうなるのか。また車両センターの施策等の労働条件に関わる交渉についてはどうなるのか。

(会社)現在検討中である。

(組合)減多にないが、脱線などが発生した時の対応は。

(会社)今でも支社の枠を超え復旧に当たっている。

(組合)企画部門の業務が理解ができない。また非現業が要員に入っていないと思われるがどうなるのか。

(会社)非現業の作業についてはダイヤで表せないため要員としては入れていない。

(組合)改めて申し入れを行う。

以 上